

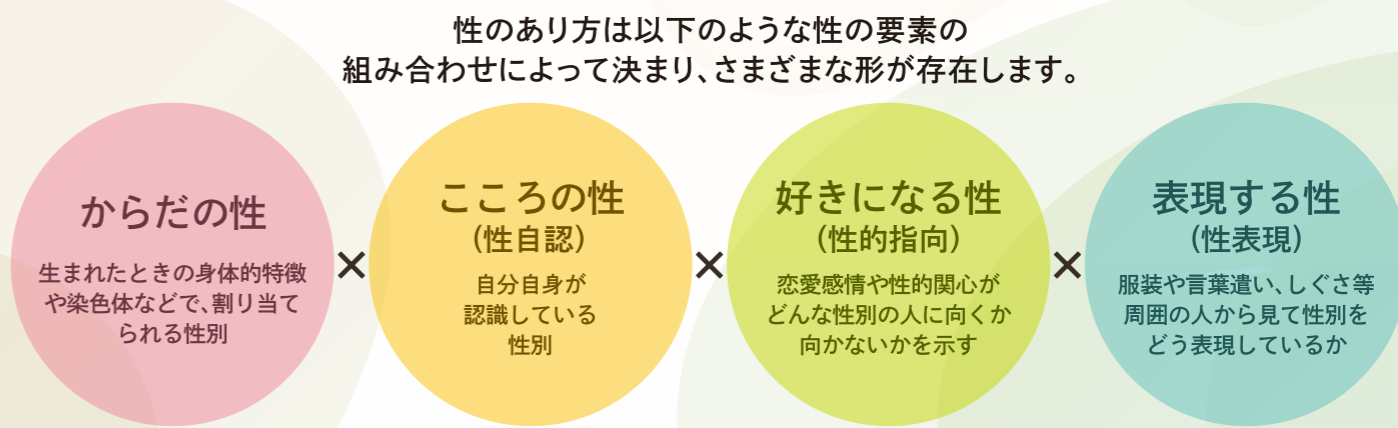


知っておきたい

# 「性の多様性」

近年、LGBT等の性的少数者について、メディアで取り上げられる機会が増えてきていますが、依然として社会の理解は十分でなく、学校や職場をはじめ、社会生活のさまざまな場面で差別や偏見、生きづらさに直面しています。「性のあり方(セクシュアリティ)」は、「男性」「女性」のたった2つに分けられるほど単純なものではありません。性のあり方は複雑かつ多様です。まずは、私たち一人ひとりが性の多様性について理解することが大切です。

## 性のあり方(セクシュアリティ)について考えよう!



セクシュアリティはいわばその人の生き方であり、個人の尊厳に関わる大切な問題です。  
また、性自認や性的指向は、本人の意思や努力によって変えることはできません。

## カミングアウトとアウティング

「人に知られていない」あるいは「知らせていない」自分の性自認、性的指向を他人に打ち明けることをカミングアウトといいます。また、本人の承諾を得ずに、その人の性自認、性的指向を他の人に伝えてしまうことをアウティングといいます。  
もし、あなたが周囲の人からカミングアウトされたら、当事者の気持ちを大切に真摯に話を聴きましょう。アウティングは、重大な人権侵害です。その人の性自認、性的指向を他の人に勝手に話さないなど気を付けましょう。

## 鹿児島市の取り組み

### ○鹿児島市パートナーシップ宣誓制度

令和4年1月にパートナーシップ宣誓制度を開始しました。この制度は、お互いを人生のパートナーとして、日常生活において相互に責任をもって協力し合うことを宣誓した、一方または双方が性的少数者である2人に対し、鹿児島市が受領証等を交付するものです。

### ○性の多様性理解促進パンフレット・ポスターの作成

市民向けの啓発パンフレット・ポスターを作成しています。  
(パンフレットに相談窓口の案内を掲載しています。)



パートナーシップ宣誓制度



性の多様性理解促進パンフレット・ポスター

**6/25** 日曜日  
男女共同参画週間フォーラム  
スポーツ界から考える  
ジェンダー平等  
～オリンピックからのメッセージ～



男女共同参画週間(6月23日～29日)に合わせて開催した、男女共同参画週間フォーラムでは、バドミントン女子元日本代表の前田美順(みゆき)さん(霧島市出身)を講師にお迎えしました。  
自身の試合を動画で振り返りながら、「自分が活躍できたのは周囲の支えがあったおかげで、身近な人への感謝が頑張る力につながった。試合に負けたら原因を突き詰め、後は自信をもって一生懸命やることを心がけていた」と振り返りました。スポーツ界におけるジェンダー(社会的性差)の現状も語り、今後は女性選手向けの情報発信にも力を注ぎたいと語りました。  
参加者からは「スポーツ界における取り組みも少しずつ進んでいると感じることができた」といった声がありました。

**10/22** 日曜日  
パパ大好き♡  
泣く子も笑うハッピースマイルセミナー  
ベビーダンスでコミュニケーション&ストレス発散!



父親の育児参画を応援しようと、親子でベビーダンスを体験するセミナーを開きました。  
ベビーダンス協会認定インストラクターの鳥越紫つば花さんを講師に迎え、親子10組が参加。歌に合わせた自己紹介や軽いストレッチなどでリラックスした後、子供を抱っこ紐で抱えながら前後左右にリズムを取るベビーダンスにチャレンジ。社交ダンスをもとに生まれたというダンスは規則正しいステップが心地良い刺激になるそうで、ほとんどの子供がほほくそ寝てしまいました。  
参加者からは「ゆったりして無理のない動きだけれど、良い運動になる」「子供も喜んでくれて楽しかった」などの感想が寄せられ、親子のコミュニケーションにも役立つ様子でした。

**9/23** 土曜日  
女性のためのキャリアデザインセミナー  
“わたし”が輝く  
キャリアデザイン



「ワークとライフの充実、私たちのありたい姿とキャリアを考える」をテーマに、「女性のためのキャリアデザインセミナー」が開かれました。  
ワーク・ライフバランスコンサルタントの原わか奈さんを講師に迎え、「自分はどうか、どうなりたいか」を言語化することを当日の目標にして会がスタート。参加者自身が自分のこれまでや今後について思索を深め、そこから気づきを得て次のステップに進めるような実践的なセミナーになりました。参加者は3、4人ずつのグループに分かれ、意見交換。お互いの悩みなどを話し合う中で、相手の意見を否定せず耳を傾けることの大事さなどを学び、最後は「今日から自分が始めるアクション宣言」をして閉会しました。

**11/18** 土曜日  
女性に対する暴力に関する講演会  
対等な夫婦関係のために  
～モヤモヤ・ビクビクしていませんか～



「女性に対する暴力をなくす運動期間」(11月12日～25日)に合わせてDV(ドメスティック・バイオレンス)に関する理解を深めるための講演会が開かれました。講師の千野洋見さん(NPO法人女性ネットSaya-Saya)が「対等な夫婦関係とは?」を分かりやすく解説。DVが起こる背景や概要、被害の影響や回復に向けてのプロセスなどについて、自らが関わった相談事例やデータなどを交えて紹介しました。  
DVIは個人間の問題として考えられがちですが、実際は社会の問題であり、社会が不安になるとDVが増加傾向になること、近年急増しているモラハラや、新しい暴力の形として「デジタルDV」があることなどを説明し参加者は熱心に聞き入っていました。  
参加者からは「自分がずっとモヤモヤしていたことが言語化されていて納得できた」といった声が寄せられました。